

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 3月 19日公開

では、今夜のアップデートの前に、お祈りをしましょう。今回は、非常に興味深い内容になることをお約束します。

お父様、あなたの御言葉に感謝します。あなたの子どもたちが集まり、あなたの御霊と共に、あなたの御言葉を見ながら、今日もなお、あなたが語っておられることを理解します。お父様。2800年以上も前に、あなたは敬虔な人物を選んで、人の私的解釈を一切加えず、聖霊に満たされ、今日の私たちも含め、全ての人にあなたの御言葉を伝えてくださいました。お父様、御心に感謝します。あなたは、あなたの子どもたちが暗やみにいることを望まれました。私たちはかつて、暗やみにいましたが、今、私たちは光です。私たちは光の子どもであり、光の中を歩まなければなりません。あなたの御言葉を理解し、その中を歩む事も私たちの務めです。お父様、今夜あなたの聖なる都より、あなたに感謝し、あなたを祝福します。地球上で唯一、あなたが「わたしの地」「わたしはここに、わたしの御名を置く」と言われた場所、エルサレムより、このお祈りをお捧げいたします。

アーメン。

アーメン！

ということで、皆さんこんばんは。アミール・ツアルファティです。現在、エルサレムにいます。今日は2018年3月19日月曜日（日本時間2018年3月20日4:00AM）。現在起こっている、いくつかの事についてお話しします。神の人々にとっては、非常に興味深い内容だと思います。まずは、昨日の、非常に分かり切っていたヴラディミール・プーチンの当選について。それから、イラン協議に関して、イランでは何が起こっているのか、そして、（ティラーソン）国務長官は何故解任されたのか。それから、トルコが現在、シリア北部でしている事について。それから、サウジアラビアの皇太子ムハンマド・ビン・サルマーンの非常に興味深い訪問について。アメリカ合衆国を8日間訪問するところから始まります。彼は、非常に興味深い発言と、演説を予定しています。始める前に、少しお伝えしたいのですが、私はさっき帰国して、なんと、ほんの2時間前に着陸したばかりです！週末をスイスで過ごした後、テルアビブに着陸しました。あちらでは、いくつかの集会があって、両方ともに人々がオーストリアやドイツから、はるばるスイスまでやって来て、もちろん、スイス人の方々も国内の至る所から来られ、本当に祝福されました。聖徒たちの、本当に素晴らしい集会でした。皆さんが、見るからに御言葉を聞くことに飢え渴いておられました。また、ヨーロッパのレムナント（残された人たち）たちのことを、神がとても喜んでおられると知って、とても励まされました。ヨーロッパは非常に暗やみが濃い所で、それに関して、あちらの人たちは全員が同意するでしょう。ヨーロッパは、ほとんど神が排除されています。ずいぶん以前に、神を追い出してしまったのです。しかし、あちらのレムナントたちは、神にとって本当に尊い存在です。聖書の中でも、エリヤは、自分はたった一人だと考えましたが、他にも、バアルに膝をかがめていない者たちがいる、と神が言われたように（書記注：第一列王記19:18参照）、信者がごく少数派である、世界中の様々な国でも、神は、

「あなたのような人が他にもいる。元気を出しなさい。あなた一人ではない。わたしがあなたと共にいる。」
とっておられるのだと思います。実際、人々が真っ暗闇の地で、強く信じている、というのは、本物の信仰

です。それを目の当たりにして、私はとても感動し、物凄く励まされました。同様に、私も彼らを励ますことが出来たなら、幸いです。私が次回ヨーロッパを訪れるのは6月、オーストリアのウィーン、その後、ルーマニアです。オーストリアとルーマニアの兄弟姉妹にメッセージを伝え、励ますのを、とても楽しみにしています。勇敢に戦い、競走を走り抜いて、最後までやり遂げられますように。それから、イスラエルツアーの申し込みをたくさんいただきました。数日以内に、2019年のツアー日程を発表しますが、すぐに埋まりますので、出来るだけ早めにお申し込みされることをお勧めします。ヤングアダルトツアーと、今年のイスラエル・ヨルダン Alumni（経験者）ツアーには、まだ若干の空きがございますので、ご興味のある方は、今週が決断の時かもしれません。

では、まずはロシアについてお話ししましょう。



再選されたプーチン露大統領

私が個人的に信じていることは、これまでも何度も言ってきましたし、フェイスブックには投稿もしましたが、私たちが昨日目撃したことは、やがて悪魔に憑りつかれる人物、ゴグと呼ばれる者の再当選だと、私は思っています。といっても、反キリストが誰であるか、それは私には分かりませんし、こう言った人物を名指しするのが、今流行っていますが、はっきり言えば、私はそれを知りたいとも思いませんし、興味もありません。ただ、私が霊で感じているのは…少なくとも、私たち信者は、反キリストがあらゆるペテンを行う時、ここにはもういないのです。私が思うに、少なくとも私たちにとっては、——私たちは現在、大首長であるマゴグの地のゴグを目にしているのでしょう。そして、私が思うに、ヴラディミール・プーチンは、個人として、ゴグと呼ばれる悪魔に憑りつかれている、もしくは憑りつかれるのでしょう。なぜかと言えば、ゴグは個人であって、国ではありませんから。どうか皆さん、マゴグについて理解しておいてください。これは、創世記10章に遡って、ノアの子孫です。洪水の後、再び増え広がるノアの息子たちです（創世記10:2参照）。これについては、疑う余地はありません。北の国からについて書かれていて、エゼキエル自身が、北の果てからやって来る（エゼキエル書38:15参照）、と告げていますから。ヴラディミール・プーチンは、ゴグの霊を内に宿した指導者であるだけでなく、私たちが昨日目撃したのは、非常に興味深いものだった、と私は心底思います。その理由をお話しますと、まず第一に、ヴラディミール・プーチンについて皆さんに伝えておきたいのは、勝利が彼にとって重要だっただけでなく、投票率もまた非常に重要だったのは、今回が初めてです。投票率は超重要事項で、彼は国民に「投票に行くように」と呼びかけていました。あちらは、凍えるような寒さで、マイナス12℃、マイナス15℃という気温の中、彼は人々に「投票に行かなければならない」「投票に行くべきだ」と訴え続け

ました。ところで、日曜日の夜、投票所が閉まった直後にプーチンは、目標の投票率65%を達成したように見えたので、それが上手く行ったのです。さらに、皆さんにお伝えしておきたいのは、今回は、これまで見て来たものとは、全く違ったものでした。まず、プーチンは、ヨシフ・スターリン以来、最も長期間支配している指導者です。驚くのは、彼は、票の73.9%を獲得して勝利したと宣言しており、国営の出口調査によれば、クレムリンは投票率を心配していたようで、これはその結果です。結局、先ほども言いましたように、投票率は65%でしたが、これは別の話で、さらにプーチンにとって重要だったのは、今回の選挙は、20年近くに及ぶ、ロシアで情報をコントロールし、ロシア社会を操作する彼の計画が、最高潮を記録したのです。今や、彼が築き上げたロシアは、彼のものであり、また、彼だけのものである、これは全く疑う余地がないことを、プーチンは証明したのです。彼は、独裁者です。彼は、権力を握った2000年に、この長期にわたる誤情報活動を開始し、ロシアの民営テレビ局を乗っ取り始めました。そして文字通り、経営者たちに執政者を送り込み、彼らを調停、または国外に追放しています。それ以来、彼は、一つ一つの新聞社、ウェブサイトやブログから徐々に、政治的反对者や、民間による表現の自由を奪っています。新しい法の改正では、NGO（民間公益団体）を「厄介な外国代理人である」と明言し、領域を守らず過激な内容をインターネット上に投稿したジャーナリストや、政治的指導者を一人一人暗殺しました。これによってプーチンは、一步一步自分の時代に近づいて行きました。皆さん、ヨシフ・スターリン以来、これまでに誰もしたことの無い形で、ロシアを支配してきた人物を、今私たちは目撃しているのです。しかしそれ以上に、彼は2016年に、インターネット調査機関まで始めています。ロシア国民の思想を操作するには、これが最高手段であると気づいたのです。これは物凄く大きな事で、実際、この機関の人が、人気のアプリ「テレグラム」で書いているのは、彼らが何を言い、何を掲載するか、その方法まで命じられていて、事が起こるはるか以前から、全てが綿密に計画され、手配されていることを見せました。ヴラディミール・プーチンは、彼の…恐らく、この6年が彼の最後の大統領任期になるでしょうが、しかし皆さん、理解しておかなければなりません。この後、彼は少なくとも4~6年は、大統領になれないのです。ロシアの憲法では、大統領は続けて2期以上は就任できません。ですから、これから6年間は彼が大統領でしょうが、彼が現在抱えている最大の問題は、ご存知の通り、彼は全世界に見せつけようとしたにもかかわらず、シリアも大して支配出来ていません。現在、彼は経済を安定させようとしていますが、彼の経済は今、ガタガタです。そのために、彼にはガスと石油が必要なのです。ガスと石油の価格を支配し、ガス・石油の貯蔵を彼が支配しなければなりません。そして、他の世界へ配信する道を、彼が支配しなければならぬのです。そのために、彼が動く中で、ヴラディミール・プーチンに引っかかっている最大の問題は、イスラエルです。イスラエルは、膨大な量の天然ガスの貯蔵を発見しただけでなく、エジプトやヨーロッパの国々と次々に契約を結んでいるのです。それも、ガスを提供するだけでなく、あちらまでガスを送るための海底パイプラインを建設しています。これは、彼が失うことの出来ないものなのです。ですから皆さん、現在私たちが目にしてているものは、すでに中東に入っている、巨大なロシアの駐留をはるかに超えて、ロシアの、シリアの地中海沿岸や、イスラエルとの国境での確固たる地位が、最高潮に達していることをはるかに超えて、これからは違うプーチンを目にすることになります。プーチンは、もう大統領選には出馬出来ませんから、今後一切、誰の事もなだめようとはしないでしょう。今、彼は、ロシアに最大の経済をもたらした者としての伝説が欲しいのです。これを目撃している私たちは、今、物凄い時代に生きているのです。ということで、以上がロシアの支配に関してでした。昨日、私たちは、ロシアの大統領の再選を目の当たりにしましたが、私の目には、私の心も、私の霊で見ても、彼が初めて「ゴグ」としての任期に突入した、と見えています。皆さん、理解しなければなりません。反キリストでさえ、普通の人です。そこへサタン自身が彼の中に入り込み、

彼に内住するのです。反キリストの霊というのは、霊であって、悪魔的なものです。それが、誰か、政治家か何か世界的指導者の内部に住むのです。つまり、私が言いたいのは、ヴラディミール・プーチンのような一般の世界的指導者が、ゴグの霊、霊的な実体であるゴグの悪魔が、旧約聖書の中のツロヤシドンの君主同様（イザヤ書 23 章、エレミヤ書 47:4、エゼキエル書 27～28 章、ヨエル書 3:4、ゼカリヤ書 9:2 参照）、今回はマゴグの君主となるのだ、と私は信じています。指導者がこれを行うのは、自分に与えられた使命、悪魔の使命、サタンの使命である、と気づいた時に、エゼキエル 38・39 章成就への扉が、初めて大きく開かれるのだと、私は心の底から思っています。ヴラディミール・プーチンが、イスラエルを滅ぼしたいだけの、ただの人であるとは、私は全く信じていません。彼は、正常な判断の中で、イスラエルの重要性を理解しているのだと私は思っています。だから彼は、ネタニヤフとも友好的なのです。しかし現在、既に大統領としての最後の任期に突入しました。次に、彼がずっと望んでいたであろう役割を掴む条件が整った時、いずれ、悪魔の実体が彼の中に入り込むのだ、と私は信じています。イスラエルに対する憎しみや、イスラエルの滅びに対する願望は、悪霊です。それを理論的に説明することは出来ませんから。平和を愛する国、情報を提供してテロを阻止し、他の多くの国を、テロ攻撃から救っている国です。あらゆる情報、あらゆる技術、想像をはるかに超える富を、世界に提供している国です。なぜこれを破壊したいと思う者がいるのか？これは悪霊です。これは悪霊であり、サタンの霊です。そしてその悪霊が、彼の中に入り込んだ瞬間に、彼はもはやイスラエルを財産とも、味方とも、友としても見なくなる、と私は思っています。そうでなく、超大敵として見るようになります。そして、彼が現在の経済状況を見て、シリア内のあらゆる富、少なくとも東側の石油は、クルド人によって支配され、それがアメリカによって管理、保護されていて、それに手出し出来ないことを、彼が理解した時、——彼は既に理解しています——彼に残された道は、唯一地中海のガスを略奪しようとする事です。それは現在、イスラエルの所有です。皆さん、聖書の終末預言で見てきた人物が、現在生存しているだけでなく、誰であるか分かる、こんな感覚は初めてです。これは、私が見て、私の霊で感じている事です。興味深いのは、これによって、彼の同盟国に関して運命が決定されるのです。彼が現在、同盟を結んでいる国とは誰ですか？彼らは何でもやりたい放題し、それに関して世界は何も言わない——イランとトルコですよ。

次に、スルタンのペテンについてお話します。我々の周辺の指導者たちが、今や古代の肩書を背負い始めているのが、興味深いところです。プーチンは「ツァー（ロシア皇帝）」、エルドアンは「スルタン」。



エルドアントルコ大統領

エルドアンは、軍事作戦を終えました。彼はトルコシリア国境からさほど離れていないシリアの飛び地アフリーンを包囲しただけでなく、町を占拠しました。そして彼は、基本的には、クルド人の全員を追い出しました。これは彼がずっと望んでいたことで、トルコは、クルド人を追い出す以外に、シリアに関して何も興味が

ない、とずっとお伝えして来ましたね。もちろん、大きく見れば、トルコはスンニ界の指導者になることを望んでいて、イスラエルに攻め込む事ほど、彼らにとって素晴らしいことはありませんが。ただ、今の彼は、望むままに全ての事を行い、誰も彼を止めません。全世界にとって、彼は現在、大きな問題です。皆さん、想像してみてください。もし今、イスラエルがシリアに侵略したら、大都市を占領し、住民を全員追い出したとしたら、世は何と言うでしょう。しかし、エルドアンが現在行なっているのは、まさにそういう事です。それなのに、誰も何も言いません。

もう一つ、非常に興味深い事が現在起こっています。サウジアラビアの皇太子が間もなく、アメリカを公式に8日間訪問します。皆さんにお伝えしますと、イスラエルは最近、エジプトで彼と個人的に会談しただけでなく、サウジアラビアの方から、ずっと私たちの方に聞こえて来ている声が、なかなか凄いのです。それは、ビン・サルマーンの次の発言が始まりでした。



ムハンマド・ビン・サルマーン皇太子

「今、サウジアラビアから新しい風が吹いている。」

彼は、

「権利の上で、男と女は平等であると信じている」

と言い、あちらで、女性に関して大改革を起こしています。また彼は、さらに中東のすべての問題に関して、イランを非難しています。数日前のドナルド・トランプ大統領の演説を聞きましたが、その中で彼は

「北朝鮮の問題に関しては、我々に対処出来る、他の国との他の多くの問題に関しては、我々は対処出来る。しかし、現実を直視すると、至るところで起こっているあらゆる問題は、イランが引き起こしているのだ。イランが最大の問題であり、中東全体を不安定にしているのは、イランである。」

と述べています。このように、イスラエル首相と、アメリカ大統領と、サウジの皇太子が、全く同じ語調で話しているのがお分かり頂けるでしょう。このようなものは、聞いたことがありません。これまで私たちは、アメリカ大統領が我々を非難し、サウジ政権が我々の根性を憎んで、中東全土のテロリストに資金提供して、世界中の反イスラエル機関を支援することに、すっかり慣れていました。それが初めて、サウジが完全に反対側に移動するのを目にしています。だからといって、私はサウジが支持している事に賛成しているわけではありませんよ。ただ、聖書のシェバとデダンが、イスラエルに敵対して来ないのを目にしているのです。実際彼らは、イスラエルに対する攻撃を非難しているのです。私たちは今、北からゴグが興るのを見ているだけでなく、

サウジが反対側に翻る様も見ているのです。そして現在、同盟が形成されつつあり、その繋がりが、どんどん強化されている様子も目撃しているのです。これに私はすっかり魅了されるのです。皆さん、どうか理解してください。私たちは終わりの時代に生きているだけでなく、今は終わりの瞬間だと思います。私はずっと、各地を訪れたり、インターネット上で情報を伝えて、世界中の人々の注目を引こうとして来ましたが、皆さん、現在私たちは、信じられないようなことが起こるのを、目の当たりにしているのです。

ここ数日間の間に関じた事の一つに、トランプ大統領によるレックス・ティラーソン国務長官の解任がありますが、ちなみに、最初にその動きを賞賛したのは、何と、サウジです。ここで、なぜサウジが、石油会社の元社長、元 CEO であった人物にそこまで敵対するのか？と疑問に思うでしょう。最大の友のはずでは？と。



国務長官を解任されたレックス・ティラーソン

どうも、政権中に知れ渡っていたのは、ティラーソンはイランにさらに制裁を課す事に賛成ではなく、イランとの協議から撤退する事には、確実に反対だったようです。現在サウジが、何としてでも望んでいるのは、イランを止めることで、自分たちがイスラエルの味方だと見られようが、“コーシェル”（食物戒律）に従わない人々と仲良くしていると言われようが、彼らは一向に構いません。イランの拡大を最小に食い止め、イランが世界の他の部分に地位を確立することを止められるなら、彼らはどんなことでも行います。皆さん、理解しておかなければなりません。おそらく皆さんは知らないでしょうが、ほぼ隔週で、サウジアラビアはロケット攻撃を受けているのです。と言うと、

「ちょっと待って、誰もそんなことを言っていないよ？」

と皆さんは思うでしょうが、私が今、伝えています。イエメンのフーシ派反政府勢力が、イランから直接資金とロケットを与えられています。そして、これらのロケットに、イランの工場の名前が書かれているのを、私たちは発見したのです。そして、イエメン人たちに提供されている、これらイランのロケットは、リヤドや、そこら中のサウジ兵に向けて使われているのです。信じがたいかもしれませんが、サウジアラビアの首都は、ここ数ヶ月の間に3、4回以上のミサイル攻撃に遭っているのです。皆さんは、

「どうしてサウジは、イランをそれほど危惧しているのか？」

とお思いでしょうが、イランは既に、間接的にサウジアラビアを攻撃しているのです。興味深い事に、私が飛行機の中で「The Economist」を読んでいると——私は、あの偏った雑誌は好きではありませんが、ただ、その中に、現在中東で起こっている事に関して、非常に興味深い分析が掲載されていて、サウジがイラクにどれほど接近しているかについて、素晴らしい記事でした。皆さん、サウジがここにあって、イランがここ、そし

てイラクは、イランとサウジアラビアの間です。



サウジアラビア周辺地図（左）とバスラの位置（右・赤い丸の地点）

そして、イランがイラクを占領しようとする度に、イランはサウジアラビアにどんどん接近して来るのです。そして、ペルシャ湾岸にある細長く小さな地帯、イラク南部のバスラという町が、現在、サウジとイランの両方から“求愛”されているのです。他でもないイラクが、このような盛大な申し出を受けるとは、いったい誰が想像出来たでしょう。信じられないでしょうが、あの沿岸地帯のバスラでは、5つ星ホテルが建ち、現在、様々なイベントが開催され、サウジの詩人が週末にあちらに招待されて、サウジアラビアの王までもが、イラクに、座席数15万以上の世界最大のサッカー場建設を提案しているのです。想像出来ますか？全ては、イラクがイランの手に陥る事のないように、イラクの心を射止めるため、イラクの支援を勝ち取るためです。一方でイランは、イラク人に、彼らの街に来て、買い物するようにと招待して、イラク人がビザなしで訪れることが出来るようにまでしています。ですからイラク人は、今ではビザなしでイランの国境を越えることが出来、自由に買い物をします。ご存知の通り、イラン経済は今、非常に悪いですから、彼らはあちらのイラン南部で買い物をします。想像出来ますか？あちらでは今、すごい事が起こっているのです。

さらに、皆さんにお伝えしたいのは、イランの恐れは、5月中旬のドナルド・トランプ大統領が、イラン合意からの撤退を考えている事だけではありません。それに伴う結果を、皆さんは理解しなければなりません。イランと継続して取引すると、アメリカとは継続して取引出来なくなるのです。そうすると当然、イランの首都への現金の流れを止める事になります。まず第一に、ボーイングといったアメリカの企業、それ以外にも、ヨーロッパや他の国の自動車会社のような会社からもです。つまり、我々が目にしているのは、イランがイラン合意から受け取っていた利益を失いつつあり、確実に広げられたロシアの両腕に飛び込んでいく姿です。それもただ、政治的亡命のためでなく、彼らも、ガスや石油の利益を狙っています。また、イランが引き続き、我々サイドを不安定にしようとしています。彼らは、ガザ地区内のハマスの組織に資金を送りました。信じがたいかも知れませんが、ガザのパレスチナ人たちは、あまりにも長い間苦しんで来たのだから、ようやく自活し始める、と皆さんは考えるでしょう。しかしこれらの何百万ドルという資金は、継続してトンネルを掘るために使われ続けます。イスラエルはこの週末、さらに二つのトンネルを破壊しました。我々には、世界最新の技術があって、現在、それについて語ることも出来ませんが、掘られているトンネルを探知し、我々にとって脅威になる前に、それを破壊します。パレスチナは非常に、——物凄く苛立っているのでしょう。我々は人を殺

しているわけではなく、私たちは戦争を待ち構えているわけではなく、ただ彼らのインフラを破壊しているだけです。彼らが、膨大な時間と資金、その他を費やしたものが、イスラエル戦闘機が落としたり、たった二つの爆弾で消え失せるのです。そして、なぜ我々の諜報機関が正確な位置を知っているのかが、彼らには全く理解出来ないのです。我々は、ガザから、イスラエルの外側で、こちらに向かって来るトンネルを破壊しているだけでなく、ガザの内側のトンネルも破壊しています。彼らは、イスラエルが戦争で入って来たときに、彼らの内側で繋がっているこれらのトンネルで、我々を不意打ちしようとしているのです。そして我々は、それらのトンネルも破壊しています。そのためには、非常に精密な諜報が必要なのです。このようにイスラエルは、ガザに罰を加える代わりに、トンネルを破壊しようとしたのです。それだけです。我々には、アイアンドーム（防空システム）があって、これはロケットに対して素晴らしい対応をしますが、今では、地下に鉄の壁があって、トンネルに対応していて、彼らは、それを理解しています。それが彼らにとっては、かなりイライラするのです。

エルサレムあるフランス領事館の職員二人を逮捕しました。具体的には、運転手と警備員ですが、彼らは70種類以上の異なる武器を、ガザから西岸地区へ密輸していました。彼らは、パレスチナ人を援助するフランスの“慈善団体”として、ガザ地区へ入り、あちらの人々が彼らに銃を渡します。そして、外交官として彼らは身体検査を受けることなく、イスラエル国境を通るのです。このために、今や我々は、外交職員さえ信頼しませんし、人道支援目的であちらに入っているNGO（非政府組織）さえ信頼しません。彼らは、救急車さえ、テロリストを運ぶために使うのですから。当然、これはあらゆる規則に違反します。それが今や、彼らはそれをするために、人道支援組織まで使うのです。素晴らしい諜報機関によって、イスラエルはそれを止めて、この二人を起訴し、フランスは非常に恥をかきました。これについて、フランス領事館は何も知らなかったようで、他のフランス政府同様、ショックを受けているようです。それで彼らは、これに関して、徹底的な捜査を命令しました。

長くお話するつもりはありませんが、今回のロシアの大統領選に関して、私の想いをお伝えしました。先週、私がお伝えした、アメリカとイスラエルの攻撃について、それはいつ起こるのか？と聞かれましたが、当然、これは悪化した場合の計画で、物事が悪化する前にはそれなりの事が、それなりの段階を経て起こります。イスラエル首相と、アメリカ大統領はそれについて話し合い、イスラエル軍とアメリカ軍はすでに訓練しました。これは仮説ではなく、ただ時間の問題です。しかしこれは、私が決めることではありません。私にも分かれば良いのですが、第一に彼らは、私に知られたくないでしょうし、第二に彼らは、皆さんにも知られたくないでしょう。ですから、起こる時には起こるでしょうし、それが起これば分かります。一つ確かなのは、イスラエルもアメリカも両方もが、現在国境の向こう側で起こっていることを、快く思っていない。イランの確立と、中東全域を不安定にしようとする継続した動きも、間もなくトランプ政権が究極の和平協議を作り出し、提案するでしょう。それはもう、ほぼ最終決定されている、と私は思っています。

とても興味深いのは、イスラエルでは先週二つのテロ攻撃があって、一つはパレスチナ人がイスラエル兵集団の中に車で突っ込み、警官と兵士が死亡しました。次に起こったのは、エルサレム旧市街で、テロリストが、嘆きの壁から帰宅途中のヤムカを被っていたユダヤ人を襲い、彼を刺殺しました。これらが、72時間の間に起こったのです。しかし、パレスチナ大統領からは、何の言葉もありませんでした。このような行動に敵対す

る言葉は、一言もありません。興味深いのは、在イスラエルのアメリカ大使デイヴィッド・フリードマンは声明を発表し、その中で

「この件に関して、パレスチナ当局から一言もないのは、許しがたい事だ。」

と述べました。そして、ほんの数分前に、マハムード・アッバースから我々が受け取ったのは、——彼は、在イスラエルのアメリカ大使に電話をして——私は、その言葉を言えませんが、「Son of ○○」——分かりますね？さらに彼は

「シオン主義の薄汚い入植者だ」

と言ったのです。ここに、パレスチナ当局が、現在のアメリカやアメリカ人のことをどのように考えているのかが要約されています。彼らは、皆さんのお金が欲しいのです。そして、彼らの望む政治的な物を、皆さんが提供しないのなら、彼らは皆さんを投げ捨てます。全く同じことが、サウジに対しても行なわれました。サウジが、彼らの気に入らないことを、パレスチナに対して言った途端、突如としてパレスチナは、

「もう、サウジアラビアに興味はない！」

と言い、イランとトルコの両腕に飛び込みます。これにはサウジもショックを受けて、

「これまでの40~50年間、何億、もしくは何十億ドルという額を我々が資金提供して来たのに、突然、もう我々には用はない、と？」

これが現在の状況です。“まことが地から生えいで”ている（詩篇 85:11 参照）のが分かります。幾人かの中東の指導者たちの中で、現在起こっていることは、嘆かわしい事です。

ご存知の通り、イスラエルの脅威は、隣接する国々からのものではない、と私は強く強く信じています。シリアは、基本的にはすでにありません。ヨルダンも、イスラエルと平和な関係です。エジプトも、イスラエルと平和な関係です。レバノンに至っては、レバノンが平和を破りましたが、彼らは、彼ら自身の問題を抱えています。それからヒズボラは、彼がイスラエルを攻撃するなら、イスラエルは徹底的に彼らを破壊する、ということを知っています。ですからエゼキエルは、詩篇 83 篇と違って、——こちらは既に起こり、成就した、と私は信じています——エゼキエルは、イスラエルと隣接していない第二の層だと、私は思っています。ロシアも、トルコも、イランも、スーダンも、リビアも、イスラエルとは一切国境を共にしていません。彼らは、イスラエルの神に打ち負かされるとは、全く思っていないのです。しかし、それは起こる、と私は信じています。ですから、詩篇 83 篇は、我々周辺の隣接しているアラブ諸国について書かれています。詩篇 83 篇は、イスラエルが生まれる前と、イスラエルが国家宣言した直後に、彼らは

4 …イスラエルの名が、もはや覚えられないように…

(詩篇 83:4)

したかったのです。覚えていてください。これは「イスラエルの名」が全てです。イスラエルが、パレスチナからイスラエルへ、元々の名前に戻した途端、世は、我々を滅ぼそうとしたのです。これは、詩篇 83 篇です。今はむしろ、スンニ派アラブ界のほとんどがイスラエルを「事実」として受け入れています。もう、否定はしていません。イスラエルは、協力すべき対象であって、敵対する対象ではない。現在の問題は、他でもなくイランである、と。ですから近い将来、私たちが目撃するのは詩篇 83 篇ではなく、エゼキエル 38、39 章で、第二の層だと、私は信じています。そしてこの週末、マゴグの君主ゴグが、彼の本拠地に入りました。彼の公式な立場に就いた、と言っても良いでしょう。私は超、超楽しみにしていますよ！一つ、説明しますと、昨日サ

ンガレンでメッセージをしたのが、

「上にあるものを求めなさい」

コロサイ人への手紙 3:1~2 です。聖書には、こうあります。

- 1 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。
- 2 あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

(コロサイ 3:1~2)

神が、私たち信者に求めておられるのは、一つに、コロサイ 2 章にある通り、私たちは罪によって死んでいたのに、私たちは生きながらにして、キリストの贖いの力によって、死からよみがえらされたことです。そしてもし、私たちが新しく生まれたなら、私たちが赦されているなら、次に私たちがすべき事は、上にあるものを思うのです。私は、私たちが求めるものとは何なのかを、メッセージの中で説明しました。イエスが、あそこにおられます。聖書には、

- 1 …上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

(コロサイ 3:1b)

とあります。彼が、父の右に座しておられ、私たちがここにいるなら、私たちが求めるべきもの、待ち望むものは、彼の元に行き、彼と共にいることです。これが、私たちが思い、望み、語り、祈り、待ち望むべきことです。パウロが言ったように、義の栄冠は、彼にだけでなく、主の現れ、イエスの現れを慕っている者には、誰にでも授けてくださるのです（第二テモテ 4:8 参照）。だから私たちは、上にあるものを見て、それを思うのです。私たちの周辺のことを心配するのは止めて、ただ上にあるものを思い、瞑想するのです。イエスのもとに行き、イエスと共にいることを。ただし条件は、あなたが確かに、キリストによって死からよみがえっているなら、です。言い換えれば、もしあなたの罪が赦されているなら、もしあなたが信者であるなら、もしあなたが新生しているなら、もしあなたが聖霊に満たされているなら、その時は、上にあるものを思うのです。これらの事にワクワクするのは、何も悪いことはありません。信者の人たちがどんどん…以前は、携拳という素晴らしい事が間もなく起こる、と強く信じていた素晴らしい信者たちが、その信仰を失い始めています。たぶん、彼らは時間を定めていたのでしょう。そして、それは絶対に起こらないと言います。皆さん、信者にとって祝福された希望が一つあるとするなら、それは確実に携拳です。これは、幻想に基づいたことではなく、根拠のない思い込みに基づいたことでもなく、イエスご自身がヨハネ 14 章で言っておられるのです。

- 2 …もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。

(ヨハネ 14:2b)

「そしてわたしは、また来る」と。それから、主ご自身がこう言われました。

- 3 …あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:3b)

もし私たちが、キリストが御父の右に座しておられる、と分かっているなら、そして私たちがこの地上にいる

なら、「彼がおられる所に、私たちもいる」というのは、私たちの住所がもうすぐ変わる、ということです！彼の住所ではありません。「あなたがたのいる所に、わたしはやって来る」とは、彼は言っていない。「わたしのいる所に、あなたがたをもおらせる」と彼は言ったのです。どうしてこれが分からないのでしょうか？それから当然、第一テサロニケの有名な聖句で、

16 主は、…ご自身天から下って来られます。…

(第一テサロニケ 4:16 抜粋)

主ご自身が下って来られるのです。

主がすでに昇天された後、下って来られる。

終わりのラッパとともに。

もちろん、キリストにある死者がまず初めによみがえり、次に生きている私たちが彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです(第一テサロニケ 4:17 参照)。素晴らしいじゃないですか？これにワクワクしないなんて、出来ません。これらの事を思わないなんて、どうして出来ますか？上にあるものを思うのです。それもただ、彼と共にいるために行くだけではなく、それは物凄い速さで起こるのです。さらに、私たちがあちらに行ったら、何があるのか？私たちは主の御前に立ち、自分たちの行いの全てを説明しなければならない、と聖書にはあります。といっても、これは地獄や天国ではありませんよ？その時私たちは、既に天国にいるのですから。褒美があるか、ないかです。試された後、私たちの行いが残れば、その人は報いを受ける、もし残らなければ、損害を受ける(第一コリント 3:13~15 参照)——損害とは、あなたには何も褒美が与えられない、ということです。つまり私が言いたいのは、私たちはこういったことを考えないといけません。これはどうでしょう？彼がもうすぐ戻って来て、ここを統治され、私たちは、彼と共に統治するのです。これはどうですか？千年王国の後、彼は全てのを新しくされるのです。そこでも、私たちは彼と共にいるのです。こういう事を思い、求め、思い巡らしなさい、と聖書は告げているのです。そして、その時まで、私たちは城壁の見張り人でいなければなりません。私たちは、神の御言葉を広めなければなりません。私たちは、世に伝えなければなりません。エルサレムに、ニューヨークに、パリに、チューリッヒに、パースに、シドニーに、ロサンゼルスに、全世界に、希望があることを伝えなければなりません。今はまだ、手遅れではありません。彼らに「ゴスペル」(福音の錠剤)を渡すのです。それがあなたのいのちを救い、彼らのいのちも救えます。あなたが彼らにそれを与えて、彼らがそれを飲むか、飲まないかは彼らの問題です。しかしあなたがその錠剤を、彼らに与えるか与えないかは、あなたの問題です。それが、見張り人の仕事です。見張り人は、人に警告を与えるのが仕事です。仮に彼らが、準備が出来ていなくて死んだとすれば、それは彼らの問題です。しかし、あなたが彼らに警告を与えなかったために彼らが死ねば、彼らの血の責任は、あなたに問われます。つまり、その恐れの下に生きるのではなく、期待しながら生き、世に伝える必要性を感じ取るのです。物事がバラバラに崩壊するのではなく、然るべきところに収まりつつあるのを、私たちは知っているのですから。

主が「起こる」と言われたことは、全て起こります。これは、主が、過去に起こると言われたことが、既に起こった事実を、私たちは基にしているのです。現代史の中で、神の最大の働きは、イスラエルの故国への帰還です。皆さん、私の背後に見えているのは、エルサレムです。エルサレムが後ろにあります。ユダヤ人は、あらゆる敵にも関わらず、故国へ戻りました。私たちは戻り、死んでいた地を回復させました。まさに、聖書にある通りです。彼が、私たちを帰らせたのです。聖書は、エゼキエル 37 章でこう告げています。これは、38

章のひとつ前ですよ。

12 …わたしはあなたがたの墓を開き、…

14 …わたしは、あなたがたをあなたがたの地に住みつかせる。…

(エゼキエル書 37:12、14 抜粋)

神が、私たちをここに連れて来られました。エゼキエル 38、39 章は、まずエゼキエル 37 章が起こらない限り、起こり得ません。イスラエルがまず故国に戻っていなければ、イスラエル全土の攻撃は起こりえないのです。そして神は、2000 年の後に、私たちをこの地に戻させたのです。それなのに、神の動きが見えないなんて、あり得ません。これらの事にワクワクしないなんて、あり得ません。だから私は、物凄くワクワクしています。皆さんも、ワクワクしておられることを願います。それから皆さんが、この世での義務を理解しておられることを願います。

ということで、そろそろ終わりにしたいと思います。その前に、アロンの祝福を皆さんの上に宣言したいと思います。それから、どうかニュースレターをご登録ください。ウェブサイト Behold Israel.org より、メールアドレスをご登録ください。イスラエルや、イスラエルの他の、私が訪れる場所の美しい写真をご覧になりたいなら、インスタグラムをフォローしてください。また、無料アプリをダウンロードしてください。Behold Israel です。フェイスブックでも、私たちを「LIKE!/いいね!」してフォローしてください。フォロワーが 12 万人を超えました。そのことにとっても感謝しています。皆さん、信頼しご支援してくださり、ありがとうございます。ユーチューブも、どうかチャンネル登録をよろしくお願いします。「Behold Israel/ビホールドイスラエル」です。既に、77,000 人を突破しました。恐らく、一週間ほどの内に 80,000 に達するでしょう。このことに、私たちはとてもワクワクしています。非常に多くの人が、現状を理解するための情報源として、私たちを信頼してくださっているのが分かりますから。それが、私たちの目的です。Behold Israel とは「見よ、イスラエル」です。イスラエルを見てください。そして、私たちが生きている時代と季節を、理解してください。ありがとうございます。では、アロンの祝福を宣言しましょう。

ウェイシェメラー

アドナーイ

イエヴァーレフハー

וְיִשְׁמְרֶךָ

יְהוָה

יְבָרְכֶךָ

…(主が)あなたを守られますように

主が

あなたを祝福し

ヴィーフネッカー

エーレーハー

パーナーヴ

アドナーイ

ヤーエール

וַיְחַנֵּךְ

אֵלֶיךָ

פָּנָיו

יְהוָה

יָאֵר

…(主が)あなたを恵まれますように

あなたに(向けて) 御顔を

主が

照らし

シャーローム

レハー

ヴェヤーセーム

エーレーハー

パーナーヴ

アドナーイ

イッサー

שְׁלוֹם

לְךָ

וַיִּשֶׂם

אֵלֶיךָ

פָּנָיו

יְהוָה

יִשָּׂא

平安を

あなたに (主が)賜るように

あなたに(向けて) 御顔を

主が

上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

私たちの理解をはるかに超える平安、平和の君だけが与えることの出来る平安、世は与えることも、理解することも出来ない平安、神だけが、平和の君だけが、平和の主だけが、今も、そして永遠に与えることが出来るものです。

イエスの御名によって。アーメン。

アーメン！ありがとうございます。エルサレムより、God bless you! I love you all!

私と私の家族のために、続けてお祈りください。わたしは最近とても忙しくて、これから二週間は家族と過ごすために家にいますが、その後、「Bible Land Unveiled」の撮影のために、トルコとギリシャを訪れます。それぞれの現地で聖書を教えて、そこで何が起こったのか、その人たちに対して、神は何を言おうとされていたのか、それを今日の私たちに関連付けてお話しします。

ありがとうございます。God bless you! エルサレムより、シャローム。さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

写真出典一覧

再選されたプーチン露大統領 : ironnna 「21世紀最凶の殺戮者」プーチンがもたらす憎悪の世界・黒井文太郎

エルドアン大統領 : Wikipedia 「レジェップ・タイップ・エルドアン」

ムハンマド・ビン・サルマーン皇太子 : Wikipedia 「ムハンマド・ビン・サルマーン」

国務長官を解任されたレックス・ティラーソン : Wikipedia 「レックス・ティラーソン」

サウジアラビア周辺地図 : 旅行のとも Zen Tech

バスラの位置 : Wikipedia 「バスラ」